



金 沢



子どもを育む ハンドブック

子どもの幸せと健やかな成長のために



「金沢子どもを育む行動計画2023」
金沢市・金沢市教育委員会

● 金沢子どもを育む行動計画2023策定の趣旨 ●

「子どもの幸せと健やかな成長を図るための社会の役割に関する条例」では、子どもの育成に関わる大人の責務や基本的な施策、推進体制等を定めています。

この条例に基づき、大人が共通の理念と目標を持って、
具体的にどのような行動をしていくべきなのかをまとめたものが、
「金沢子どもを育む行動計画」です。

基本的な考え方等について

行動計画2023は、(1) 全ての子どもが健やかで安全・安心に成長できる環境の提供 (2) 誰一人取り残すことなく健やかな成長を支援し、多様なウェルビーイング(※)の実現という基本方針のもと、子どもたちの健やかな成長の基盤である家庭や、家庭を中心とした地域社会、企業、学校等の大人一人ひとりが責任を自覚し子どもとの関わりを深め、具体的に行動するといった子どもを育む大人の責任の明確化を図りました。

加えて、すべての子どもの幸せと健やかな成長を図るという共通目的の下、家庭・地域・企業・学校等の更なる連携・協力を推進するとともに、「金沢市教育行政大綱」等の基本理念や各種施策等との効果的な連携を図っています。

※ウェルビーイング…身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

※計画期間は、2023年度から2027年度までの5年間で。

家庭



1 子どもを理解する

- 1 子どもの成長について知り、考えよう
- 2 家庭内のコミュニケーションを大切にしよう
- 3 子どもと関わる機会を大切にしよう

2 家族で共に学ぶ

- 1 基本的な生活習慣を身に付けよう
- 2 家庭のルール・社会のルールを身に付けよう
- 3 デジタル技術を一緒に学び、家庭での適切な使い方を考えよう

3 社会で生きる力を培う

- 1 自主性・自立性を身に付けよう
- 2 子どもの人権・多様性の尊重の意識を高めよう



企業



1 家庭とともに

- 1 職場全体で子育てしやすい環境を作ろう
- 2 企業の役割について認識を深めよう

2 地域とともに

- 1 地域との関わりを深めよう
- 2 NPOや青少年育成団体への支援に努めよう

3 学校・行政とともに

- 1 学校との関わりを深め、教育活動を支援しよう
- 2 学校・行政との情報交換に努めよう

地域



1 みんながもっとつながる

- 1 大人同士が顔の見える関係づくりを進めよう
- 2 地域の子ども・親たちと交流しよう
- 3 「家庭」と「家庭」の交流を深めよう

2 大人と子どもが互いに知り合う

- 1 子どもの意見・考えを知ろう
- 2 子どもと大人が共に育とう

3 地域コミュニティを活性化する

- 1 地域全体で子育てを見守っていこう
- 2 大人は子どもの手本となり社会のルールはみんなで守ろう
- 3 地域の未来の担い手を育成しよう

学校



1 小学校・中学校

- 1 確かな学力の向上を図ります
- 2 豊かな心と社会性を育成します
- 3 健康な体づくりを推進します
- 4 信頼される学校づくりを推進します
- 5 教職員としての資質向上に努めます
- 6 責任ある学校経営を推進します

2 幼稚園・保育所・認定こども園

- 1 生きる力の基礎を育てます

行政



1 家庭教育の充実及び子どもの育成に関する家庭への支援

2 子どもの育成に関する地域の活動への支援

3 学校教育等の充実

4 子どもの育成への企業の関わりへの促進

5 子どもの育成に関する自主的な市民活動の促進

6 子どもの体験活動の充実や自主的な活動への支援

7 子どもの育成のための総合的な相談・研修の充実・強化

8 金沢子ども週間の普及・啓発

1 家庭の行動指針

1 子どもを理解する

方向性・
基本的な視点 **子どもの成長について知り、考えよう**

／ やってみよう! ／

子育ての経験者から
アドバイスをもらおう。



子どもと向き合い、ふれあい、子ども
の話を聞き、子どもの成長段階に
合わせた子育てを心がけよう。

子育てセミナーや講座、学校行事
や懇談会等に参加してみよう。



- ・子育て仲間をつくれる。
- ・子育てに関する情報を積極的に集められる。

具体的な行動 **持ち続けよう 子どもとともに 学ぶ姿勢**

- 社会の変化に伴い、これまで家庭や地域社会で^{つちか}培われてきた子育てについての知識や経験が受け継がれにくくなっています。まず、家族が子育てについて積極的に学び、子どもの成長に関心を持つなど、子どもからの学びや気づきを大切にしよう。
- 子どもが人としての基本的な資質や能力を身に付けられるよう、家族で子育てについて十分話し合い、それぞれの役割について考えよう。
- 子どもの自己肯定感が高まるような声かけや接し方を心がけよう。

方向性・
基本的な視点 **家庭内のコミュニケーションを大切にしよう**

／ やってみよう! ／

「おはよう」や
「おやすみ」
などの声かけを
積極的に行おう。



子育てと仕事を両立できる
環境をつくるために家族
全員で協力しよう。

具体的な行動 **声かけよう 笑顔であいさつ 朝一番**

- コミュニケーションはお互いを知るための基本です。あいさつはコミュニケーションの基礎です。家族がお互いにあいさつを交わす習慣を付けよう。
- 子どもの夢や希望、職業、将来などについて語り合おう。

方向性・
基本的な視点 **子どもと関わる機会を大切にしよう**

SNSを活用して家庭の話題を共有しよう。



工夫して関わる機会を持つ。

具体的な行動 **創ろう あたたかい家族のふれあい**

- 子どもと関わる機会や家族の団らんを大切にし、お互いを理解し合えるような会話を持とう。

2 家族で共に学ぶ

方向性・
基本的な視点 基本的な生活習慣を身に付けよう

／ やってみよう! ／

身に付けてほしい
生活習慣について、
子どもと話し合おう。



親子ともども成長して
いくため、学びの時間を
確保し、習慣付けよう。

大人がお手本となって、
家族全員が規則正しい
生活を送ろう。



- ・早寝早起き朝ごはん、生活のリズムを整える。
- ・栄養のバランスのとれた食事で食の大切さを学ぶ。

具体的な行動 育もう 子どもの健康「早寝 早起き 朝ごはん」

- 子どもの健やかな成長のためには、十分な睡眠と正しい食習慣、生活のリズムを整えることなどが必要です。基本的な生活習慣を身に付けるために、家族みんなで取り組もう。
- 子どもが自立し家族の一員としての自覚と責任を持つよう、家庭での役割を持たせよう。

方向性・
基本的な視点 家庭のルール・社会のルールを身に付けよう

／ やってみよう! ／

まもろう!

ゲーム等の時間を決めるなど、遊び・学び
のルールを子どもと
一緒に決めよう。



家庭や社会のルールについて話し合
い、大人が率先して行動し家族みんな
がルールを守ることを習慣付けよう。



家族みんながスマートフォン、インター
ネット等のモラルや危険性について理解
を深め、使い方のルールを決める。

具体的な行動 きちんと守ろう 社会のルール 大人が手本

- 家族で話し合った約束事をお互いが守ることを通して、自分を律し、ルールを重んじる心を育てよう。
- 子どもの発達に応じて、守るべきルールを大人が自らの行動を通じて丁寧に伝えよう。

方向性・
基本的な視点 デジタル技術を一緒に学び、家庭での適切な使い方を考えよう

- 具体的な行動
- 情報通信技術は便利になる一方、様々な問題が生じることがあります。家族みんなで情報活用について学び、身に付けよう。

3 社会で生きる力を培う^{つちか}

方向性・基本的な視点 自主性・自立性を身に付けよう

やってみよう!

家事等を子どもと共に行い、子どもに家庭の一員であることを自覚させよう。



部屋の清掃や花壇の水やりなど家の手伝いを通じて、子どもに仕事を任せよう。

子どもが自分で考え、自分で行動する気持ちを大切に、子どもの夢を応援し、子どもの努力を積極的に評価しよう。

地域活動や学校行事、ボランティア活動等に、家族で進んで参加しよう。

自立への試みや自己表現ができるようになる。

具体的な行動 支えよう 子どもの夢と可能性

- 多くの人とつながりと出会いの中でこそ、大人も子どもも成長できます。感動する心を育て、個性を育むため、子どもの関心事を大切に、意欲を伸ばす機会をつくろう。
- 変化の激しい社会をたくましく生きるために、子どもが自ら考え、行動できる姿勢を身に付けられるようサポートしよう。
- 子どもの安全を守るために、子どもが自分自身で考え、判断する能力を養おう。

方向性・基本的な視点 子どもの人権・多様性の尊重の意識を高めよう

やってみよう!

多様性やジェンダー平等など、SDGsについて家庭でも学び実行しよう。



子どもが持つ権利について話し合おう。

互いに認め合い、信頼する気持ちを大切にしよう。

子どもと親が自分に自信を持ち、自分の良さを肯定する気持ちを培うことができる。

具体的な行動 大切にしよう 思いやりの心 すべての命 伝えよう 心のこもった「ありがとう」

- 各個人が尊重され、「かけがえない存在」であることを日々実感できるようにし、思いやりの心を育もう。
- 子どもも人格を持つ一人の人間として認識し、お互いの価値観を認め合おう。
- 学校(幼稚園・保育所・認定こども園含む)等での学ぶ機会を有効に活用しよう。
- 子どもの良いところを褒めて育て、自己肯定感の醸成に努めよう。

2 地域の行動指針

1 みんながもっとつながる

方向性・
基本的な視点 大人同士が顔の見える関係づくりを進めよう

やってみよう!

郷土料理教室や昔ながらの遊びなどの多世代が参加しやすい行事を企画し、参加を促そう。



地域のイベントなど、人が集まる機会をとらえて子育て体験を学ぶ合う場を設定しよう。

PTA・育友会や地域活動等に参加しよう。

児童館や子育ての先輩による相談事業へ参加しよう。



・保護者や住民との情報交流が図れる。
・子育ての相談ができ、アドバイスをもらえる。
・「顔なじみ」となることで何かあった際に頼れる存在になる。

具体的な行動

- 大人同士が学び合うことを通して、お互いに顔の見える関係を築こう。
- 世代等を問わず、子どもを持つ保護者が一緒に集まって話をしよう。
- 子育て卒業の大人に、もっと子どもに関心を持ってもらおう。

方向性・
基本的な視点 地域の子ども・親たちと交流しよう

やってみよう!

小学校など学校施設を活用し、大きな行事は地域・学校をあげて実施しよう。



グラウンドゴルフやもちつき大会など、子どもから高齢者まで、地域みんなで楽しめる行事を開催し、三世代交流を推進しよう。

具体的な行動

- 「人」と「情報」のたまり場をつくろう。
- 地域の行事などについて話し合う「子ども集会」や「子どもと大人の合同集会」を開こう。
- 地域に、大人と子どもによる「遊びのクラブ」を設けよう。
- 地域のスポーツ・文化活動を通して大人と子どもの交流を充実していこう。

方向性・
基本的な視点 「家庭」と「家庭」の交流を深めよう

地域の人と積極的にあいさつを交わしたり、自宅周辺の除雪を行おう。



日常生活の中で、「家庭」と「家庭」の連帯協力を実践できる。

具体的な行動

- 顔見知りの輪を広げよう。
- 地域交流の楽しさをアピールして交流の輪を広げよう。
- 地域の絆を大切にしよう。

2 大人と子どもが互いに知り合う

方向性・
基本的な視点 子どもの意見・考えを知ろう

／ やってみよう! ／

子どもの考え方や子どもの
話題に関心を持とう。



PTA・育友会や児童館、公民館など、
地域の団体が連携しよう。



地域の大人たちと子どもたちが語りあう
機会をつくれる。

具体的な行動

- 地域の行事などについて子どもが話し合った意見を聞き、考えを取り入れよう。
- 子どもが持つ権利を守るため、意見や考えを把握するよう努めよう。

方向性・
基本的な視点 子どもと大人が共に育とう

／ やってみよう! ／

子どもの悩み、困りごとに
耳を傾け、子どもの目線で
ふれあう機会をつくろう。

中高生はサポート役に、時には大人
が子どもに教わることも大切です。



地域の活動に、子どもも
中心的な役割を担って
もらおう。

講演、集会等、様々な機会を捉えて新しい情報
や考え方を知ろう。



子どもとの関わりに活用できる。

具体的な行動

- 中高生が子どものまとめ役となりながら、一緒に知恵を出し合おう。
- 大人が子どもの良き先輩として、子どもの相談にのろう。
- 地域の教育力を高めるため、大人も子どもと共に学習しよう。

3 地域コミュニティを活性化する

方向性・基本的な視点 地域全体で子育てを見守っていこう



地域で子どもの登下校を見守ろう。



- ・地域の大人が通学路に立ってあいさつや声かけを行う。
- ・子どもの登下校の時間買い物や散歩をする。
- ・児童生徒の見守り活動を行う「子ども見守りボランティア」などへ参加する。

具体的な行動

- 子どもが安心・安全に過ごせる地域づくりを進めよう。
- 地域に、子育て情報の集積や活動の連携をサポートするための場をつくろう。
- 地域全体を「学びの場」と捉え、地域の子どもは地域で育てるという意識を醸成し、実践していこう。
- ボランティア団体等との相互の連携を強めていこう。
- 地域学習や体験活動を通して、社会で生きる力を^{つちか}培おう。
- 地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもたちの成長を支えていく活動（「地域学校協働活動」）に参加しよう。

方向性・基本的な視点 大人は子どもの手本となり社会のルールはみんなで守ろう



具体的な行動

- 共に生きるための地域や家庭でのルール、マナーを大人と子どもで学び、実践しよう。
- 多くの人との交流の中で社会のマナーを身に付けられるよう、地域の行事へ子どもと参加しよう。
- 子どもは地域の「宝」。みんなで育てる意識を持とう。

方向性・基本的な視点 地域の未来の担い手を育成しよう

地域の新たな発見のきっかけとなるイベントなどを開催しよう。



具体的な行動

- 子どもの頃から地域の一員として活動や地域貢献ができる人づくりを進めよう。
- 地域の良さを再認識し、自分たちの地域に愛着と誇りを持つとともに、転入してきた住民がいち早くとけこめる気運を醸成しよう。
- 地域活動の指導者や地域住民が相談できる人材を養成していこう。

3 企業の行動指針

1 家庭とともに

方向性・
基本的な視点 職場全体で子育てしやすい環境を作ろう

ノーマルデーを設けるなど、早く帰宅し、子どもとのコミュニケーションの時間を持てるような職場づくりをしよう。

やってみよう！

ワークライフバランスや子どもの育成に関する企業内研修を実施しよう。



子どもに関わる福利厚生制度の向上と年次有給休暇の確実な取得を図るとともに、積極的に利用できるよう上司・同僚みんなが理解を深め職場環境を整えよう。



・授業参観や通知表渡し等の学校行事に参加できるような職場づくりをする。
・「入学式」や「子どもの誕生日」などの記念日には、子どもと一緒に過ごせるよう、メモリアル休暇などの制度を作り、取得を奨励する。

具体的な行動

- 従業員が子育てや子どもの教育など、子どもとふれあう時間を持つために、長時間労働など働き方を見直し、休暇取得や定時帰宅、テレワークやフレックスタイム制など柔軟な働き方ができる職場づくりを経営者が率先して進めよう。
- 子どもの運動会や発表会、誕生日等には、保護者の休暇の取得に配慮しよう。

方向性・
基本的な視点 企業の役割について認識を深めよう

やってみよう！

子どもの育成に貢献する活動や家族単位で参加できる行事などを開催しよう。

働きやすい職場をすることで優秀な人材の確保や企業価値向上につながることを認識しよう。



子育て世代、経営者、同僚それぞれに制度や権利について学ぶ研修を実施しよう。

子どもの夢を支援するため、コンテストやコンクールなどのイベントを開催しよう。

休暇を取得しやすい環境の整備を図ろう。



従業員がPTA・育友会や町会の活動に参加することを支援する。

具体的な行動

- 社会全体で子どもを育てていく必要性とその中で企業が果たす役割の大きさについて認識を深めよう。
- ワークライフバランスの趣旨を理解し、従業員が家庭における子育てや地域の行事に参加しやすい職場となるよう努めよう。
- 子どもの夢を積極的に応援しよう。

2 地域とともに

方向性・
基本的な視点 地域との関わりを深めよう

やってみよう!

朝の登校時間帯に社屋前等の清掃をしてあいさつを交わそう。

夕方早めに社屋前等の電灯を点灯するなどして、通学の安全を見守ろう。

夕方早めに社屋前等の電灯を点灯するなどして、通学の安全を見守ろう。

企業として地域活動への参加を奨励しよう。

⇒ 従業員が、地域の行事に参加しやすいような配慮を行う。

- 具体的な行動**
- 地域の子どもの見守りに心がけ、安心安全な地域づくりに積極的に努めよう。
 - 地域社会の一員として、地域や学校と連携し子どもを育てよう。

方向性・
基本的な視点 NPOや青少年育成団体への支援に努めよう

- 具体的な行動**
- 地域の青少年健全育成事業や各種スポーツ、文化活動への従業員の参加を奨励しよう。
 - 子どもの育成に関する活動を行っているNPOや青少年育成団体の情報収集、活動支援を行おう。
 - 企業とNPO、青少年育成団体がそれぞれの専門的知識を活かして、子どもを育てよう。

3 学校・行政とともに

方向性・
基本的な視点 学校との関わりを深め、教育活動を支援しよう

やってみよう!

職場体験を受け入れよう。

従業員の子どもに、仕事の内容や企業がどのように社会に貢献しているかを説明会を行おう。

学校等からの講師派遣依頼に協力しよう。

⇒ 学校と企業が連携したイベントや体験事業などを行う。

- 具体的な行動**
- 学校に企業のことを知ってもらい、学校との関わりを深めよう。
 - 子どもの職場体験、見学会や説明会等の受け入れに積極的に応じよう。
 - 保育体験のような育児に自ら携わる体験への参加を奨励しよう。

方向性・
基本的な視点 学校・行政との情報交換に努めよう

- 具体的な行動**
- 学校・行政の行う子どもの育成に関する取組の情報収集に努めよう。
 - 仕事と子育てを両立するための取組事例などを学校・行政に情報発信しよう。

4 学校の行動指針

1 小学校・中学校

方向性・ 基本的な視点 確かな学力の向上を図ります

- 学習指導要領を踏まえ、特色ある教育課程の充実を図ります。
- 「金沢型学習スタイル」に基づき、学習指導の工夫と改善に努め、確かな学力の定着を図ります。
- 学びの土台として、小中学校の連携を深め、系統的・連続的な教育を実践します。
- 予測困難な時代に対応する多様な教育や共生社会の実現を図ります。
- 「ICT版金沢型学習スタイル」に基づき、計画的・段階的にICTを活用した授業を実践します。
- 端末活用の日常化を促進し、情報活用能力の育成や多様な学びの場の保障に努めます。

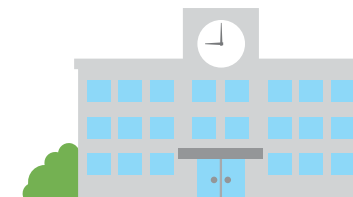


方向性・ 基本的な視点 豊かな心と社会性を育成します

- 集団生活を充実し、よりよい人間関係の確立を図るとともに、社会のきまりを守り社会的に自立できるよう、自己肯定感・規範意識を育みます。
- 奉仕活動やボランティア活動等の体験活動や、キャリア教育の充実を図ります。
- 金沢の自然や伝統・文化にふれるなど体験的な学習の充実を図ります。

方向性・ 基本的な視点 健康な体づくりを推進します

- 健康や体力に関心を持ち、自ら進んで健康づくりや体力づくりを実践できるよう、教育活動を工夫します。
- 健康・安全教育の充実を図ります。



方向性・ 基本的な視点 信頼される学校づくりを推進します

- 教職員と保護者、地域住民が共に学校の教育活動をつくるため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の連携・協働を推進します。

方向性・ 基本的な視点 教職員としての資質向上に努めます

- 教職員は、積極的に自己研鑽に努め、指導力の向上を図ります。
- 教職員の働き方を見直し、子どもたちと向き合う時間の確保を図り、効果的な教育活動に努めます。

方向性・ 基本的な視点 責任ある学校経営を推進します

- 組織的な学校経営に努め、学校の安全管理を徹底します。
- 学校評価の結果を学校経営に生かすとともに、情報公開を進めます。



2 幼稚園・保育所・認定こども園

方向性・ 基本的な視点 生きる力の基礎を育てます

- 日々の保育が遊び等を通じて学びとなることを理解し、子どもの心と身体の成長、社会性を育みます。
- 地域の子育ての拠点として、保護者を支援する取り組みや様々な交流活動を進めます。
- 保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを進めます。

5 行政の行動計画

1 家庭教育の充実及び子どもの育成に関する家庭への支援

保護者は、子どもの行動及び人格の形成に最も大きな責任を負うものですが、近年は、家庭教育力の低下が懸念されており、また、核家族化等が進み、孤立感を抱えながら子育てをしている保護者も少なくありません。

市は、こうした家庭での子育てを支える取り組みとして、家庭教育の充実や子育て家庭への支援などを行っていきます。

2 子どもの育成に関する地域の活動への支援

金沢は、小学校の通学区域（校下）を中心とした地域のコミュニティ（結びつき）の中で、子どもを育むことができる土壌があります。また、地域ぐるみで子どもを育む活動は、新しいコミュニティづくりに大きな役割を果たすこととなります。

市は、地域で子どもを育む取り組みがさらに広がり、充実した活動が展開されていくよう、様々な支援を行っていきます。

3 学校教育等の充実

小学校・中学校は、集団生活を通して、確かな学力とともに、思いやりや自律心、規範意識等の社会性を子どもの心身の発達に応じて身に付けることができるようにする場所です。その学校を設置する市や教育委員会は、こうした「人間力」の醸成を目指し、学校教育を充実させる様々な取り組みを進めていきます。その一つとして教育委員会では、令和3年3月に金沢市学校教育振興基本計画を改定しました。明日を切り拓くための大切な「心」と「力」を子どもたちに身に付けさせるために、金沢市学校教育振興基本計画に基づく取り組みを着実に実践していきます。

幼稚園、保育所、認定こども園は、小学校に入る前の子どもを育てる場所として、大切な役割を担っており、市では、別に策定した「かなざわ子育て夢プラン」に基づき、幼稚園、保育所、認定こども園のさらなる充実を図っていきます。



4 子どもの育成への企業の関わりの促進

社会全体で子育てを進めていくうえで、企業の役割は、これまで以上に重要です。就労形態が多様化する中で、社員等がより子育てに関われるような雇用環境づくりに努めることが大切です。

市は、子どもの育成について、企業の意識を高め、関わりを促進していく取り組みを進めていきます。

5 子どもの育成に関する自主的な市民活動の促進

市民同士が集まり、子どもの育成に自主的に取り組むことは、社会全体で子どもを育むネットワークの広がりにつながります。

市は、こうした自発的な取り組みに支援を行っていきます。

6 子どもの体験活動の充実や自主的な活動への支援

自然体験活動、社会体験活動、国際交流活動等を通じて、年齢、世代、文化等を越えた人と人との交流の機会を子どもに提供することは、自ら考え、判断し、行動する力や健やかで思いやりのある心、さらには郷土金沢を愛する心を育むことなどにもつながります。

市は、様々な体験活動の充実や健全育成などを積極的に進めていくとともに、子どもの自主的な参加をさらに促していきます。



7 子どもの育成のための総合的な相談・研修の充実・強化

教育プラザ富樫と教育プラザ此花の2拠点で、教育と福祉の一層の連携を推し進めます。社会環境の変化に伴い、多様化・複雑化している子育てへの相談・支援体制を充実・強化し、乳幼児から中学生までの子どもたちの健全な育ちを一貫して推進していきます。

8 金沢子ども週間の普及・啓発

金沢子ども週間（毎年10月の第2日曜日から1週間）は、家庭、地域等での子どもとのふれあいを通して、子どもを育てる大人の役割の大切さをあらためて認識する期間です。

市は、こうした子ども週間の趣旨の普及・啓発に努めていきます。





金沢子どもかがやき宣言

- 一 すすんで学び、考えます
- 二 きまりや約束を守ります
- 三 すすんであいさつをします
- 四 笑顔を大切にします
- 五 思いやりの心を大切にします
- 六 ありがとうの気持ち伝えます
- 七 毎日元気にすごします
- 八 夢に向かって挑戦します

わたしたちは、

ふるさと金沢を愛し、誇りを持ち、

未来に向かってかがやくように行動します

